

はんぱい じょうほう
ここう 販売・イベント情報 (1月21日~1月31日まで)

1月13日(木)	11:00~13:00	みらい販売
1月20日(木) ~23日(日)	9:00~16:30 (最終日は15時まで)	ぎょうだし きょうどはくぶつかん 行田市郷土博物館 こころアート展 限りない挑戦 vol.6 「kiseki」
1月20日(木)	11:00~13:00	やすらぎ販売
1月21日(金)	13:30~15:30	ぎょうだし やくしょはんぱい 行田市役所販売
1月27日(木)	11:00~13:00	みらい販売

今年もよろしく
お願いします！

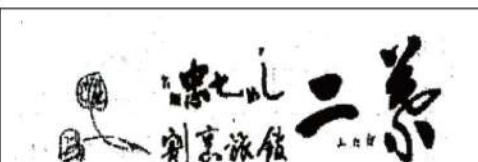


< information >

ハチミツ ローヤルゼリー プロポリスの専門店



〒361-0073 埼玉県行田市行田5-6 武州養蜂園
行田店 ☎048(550)4783



〒355-0328
埼玉県比企郡小川町大塚32
Tel. 0493-72-0038 (代)
Fax. 0493-74-1338



編集・発行
NPO法人 CIL ひこうせん
〒361-0071
埼玉県行田市栄町22-5
TEL : 048-(555)-1100
FAX : 048-(555)-1301
HP: <http://cil-hikousen.jp>

ねん がつ にち
2011年1月20日

エヌピーオーほうじん シーアイエル
NPO法人 CIL ひこうせん発行

つうしん

vol.52

ひこうせん通信

ひこうせん 今年の一宇



書: 木村 浩章

しんねん 新年あけましておめでとうございます。

昨年も既存の各事業が無事に実施され、一歩ずつですがそれらの事業は充実されてきました。また、昨年12月にケアホーム「6つの夢」が多くの方々のご支援、ご協力により、新事業として開始することが出来ました。

さて、昨年の一字は「絆」でした。2010年、ひこうせんは、内部の結束をより強化し、外部の「絆」も今まで以上の繋がりが出来、新たな施設や団体等と絆を結びました。

これに併せて今年は、点から線、線から面の流れの中、ひこうせんでは「面」ではなく、もっと立体的に捉えた「球」を目指します。この「球」を風船に例えると、風船の形状は「球体」をしており、全体に光が平等に当たっています。しかし、穴が開けばたちまちしばんでしまいます。

「ひこうせん」という球体は、ひこうせんに関わっている全ての人が自分の役割を持っており、それぞれの人が「球面」を担当して「球体」を形成しています。誰が欠けてもひこうせんの「球体」は、成り立ちません。また、球体は、層が薄いと大きくなる時や他からの力がかかるとすぐに破裂してしまいます。

2011年は、ひこうせんの層をより厚くし、各事業の格段の進歩と、同時にこの「球体」を構成している全ての人々が主人公になれるような組織づくりをしたいと思います。

最後に、この1年が皆さんの夢が叶えられる様に祈り、ひこうせんの更なる発展のためにより多くの皆さんのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

理事長 木村 浩章

ひ 二 ラ せ ん

同
いちどり

夢に向かって Step up!!	月光菩薩のように生きる。	今年は去年より、ゆとりをもて仕事を正確にやしていくたいと思います。
名前：林 浩章	名前：育藤 貴美子	名前：細野 博理子
ケチケチヘイケイ !!	明けておめでとうございます 今年は、充実した実りある年にはもう日々精進していく 思いです。来年もよろしく	今年マイペースで かいんぱり体軌 かいんぱり持
名前：松浦 英俊	名前：内田 由利江	名前：大坂 則幸
ひこうせんの皆様と一緒に、今年一年を 楽しく仕事をしたいです	今年の抱負 《有言実行》	観る・聞く・創る。
名前：育藤 洋子	名前：栗田 嘉行	名前：田端
時々大切に	一期一会	よく見て よく聞き よく考える。
名前：清瀬 康太	名前：高沢 紀子	名前：宮澤 佳保子
今年もみなさんから お褒めと元気をいただき 良い一年にしていきます。	うさぎのように、ピョンピョン 跳ねらねなくとも、力のあるうさぎ ゆっくりでも、着実に頑張って いきたいです。	うさぎ一年 ヒュンヒュン一歩 今年も頑張ります。
名前：山本 真由美	名前：新 ひより	名前：山崎 玲子
感謝の気持ちを 何事にもいつも、です。	心、穏やかに…	今年もよろしくお願ひです。 皆さんの力になりましたように 頑張りたいと思いまます。
名前：鈴木 尚美	名前：田島 いづみ	名前：飯田 尚美
三号 Go!	私は、手芸が好きなので 手芸だったらなんでも いいです	今年もよろしく! 吉野
名前：石井 健吾	名前：石津 敦子	名前：み橋 和史
仕事をがんばりたいです。 よろしくお願ひします。 羽島	昨年から始めて絵手紙と パソコンをより一層 充実したいと思います。	明けましておめでとうございます。 今年は私は5年目になりますが、 皆様と一緒に多くの経験で 頑張りたいと思いまして頑張ります。
名前：羽島 智久	名前：堀越 寛	名前：類地 重希子
無理せず、焦らず、 仕事(介助)を貰える。 忍耐をつける。	明けましておめでとうございます 今年もよろしく願いします。 色々な仕事を頑張りたいです。	今年もがんばります。梓
名前：原口祐子	名前：金子 昌代	名前：栗原 卓

新しい生活に向けて色々な良い所をしていきたいと思います。

**1200件も(い)としが
ありますように。**
また、アスニーシーへ
行きたいです。

旅行に行きたい。
あと、考え方まい
1年にしたい。

名前：丸田 支美子

名前：荒金 里美

名前：大坂 和江

私が今、食べ物をがはる
3ヶ月で外れるやせる力のことを
自分の仕事をがはる「リスト芦葉」
の勉強をやるが面白いみたい

新年明けましておめでとう
ございます。今年もみな
さんと仲よくすごせます
よう。

名前：原口めぐみ

名前：吉野 美代子

名前：吉原 尚希

あけましておめでとう
今年も沢山会をかきます
がんばります。

絵画を頑張りたい

間庭麻美

おじせたにじましたし
間庭麻美

名前：浅見 知也

ひこうせんメンバーに
なりたいです。

たまほうの
1人ぐらしだぱりよ
たんぱるぞ!! 田嶋

名前：詫井健一

名前：田沼恵子

名前：高橋信皓

ひとりをもって
仕事が出来るみたい
みたい

space Kで占いを始めたので。
ロット占い、前世占い、西洋占星術
を行なう。魔女の活動をこれ
からもじぶんする。これからもよくお
願いします

名前：木尾みゆき

名前：水上 稔香

名前：小川和彦

あけましておめでとう
ございます。
今年もおぎり会
がんばります。

笑顔で仕事を頑張ります
健康に気をつけて体調管理
します。

車の運転がしたい

名前：大沢 美江子

名前：小川和彦

名前：寺門 七惠

一期一会、新らしい出会い
に感謝して大切な時間を
精一杯がんばります。

迷路離婚!

人生を全くして
天命を待つ

名前：笠沢 美代

名前：育藤 和希

名前：寺門 七惠

皆さんは2011年も
宜しくお願ひ致します

今年も自分の勘を
信じて悔いのない年
を過ごしたいと思います。

報恩、感謝

名前：原田 利美子

名前：田村 久美子

名前：渡辺喜代志

あら
ヨウ
ム
新たな抱負を胸に、
ここに
いらぬんがんば
今年も一年頑張ります！

新春 しんしゅん ご挨拶 あいさつ

あいさつ

-3-

公共交通がまちを変える

一車を持たない人も便利に暮らせるまちづくりー

2010年1月16日(土)、第7回ひこうせんシンポジウムが行田市忍田公民館ホールで行われ、96名の方にご参加いただきました。

第一部では、DPI日本会議常任委員で交通問題担当の今福義明氏と、埼玉県移送ネットワーク代表の笹沼利氏の2名の講演がありました。

今福氏は、「交通バリアフリー法の成果とこれからの中」をテーマで、主に日本における交通を中心としたバリアフリーライフの現状や課題、その中でも2006年の「バリアフリー新法」に基づいて各市町村が策定する「基本構想」

(※1) の重要性をわかりやすく障がい当事者の立場から講演をして頂きました。また、今福氏は、このシンポジウムに先立ち、事前に氏自ら行田市を訪ね、JR行田駅、秩父線熊谷駅、持田駅、行田市駅、東行田駅のバリアフリー状況のチェックをして下さり、行田市にも「基本構想」の必要性を語られました。

笹沼氏は、「全国および埼玉県内の生活交通(※2)の現状」というテーマで、全国各地でデマンドバスやタクシーなど、過疎地域で先駆的に実験的に行われている事例の動画を交えて講演して頂きました。特に、そこに住んでいる住民が主体になり、運行経費も住民が負担している事例は、これからの行田市における生活交通を考える上で、大いに参考になりました。また、ある地域で成功している事例をそのまま真似するのではなく、各地域で住民が自分たちに合う交通システムをつくるのが大切であると話されました。

シンポジウム第2部では、第一部の今福氏、笹沼氏にも引き続き参加して頂き、コーディネーターに、ものづくり大学大学院准教授の田尻要先生にお願いして、日頃から生活交通問題に携わっている方々によるディスカッションが行われました。

行田市の市内循環バスの現状についての発言内容の要約は、次の通りです。

菅原広志氏(行田市生活課 主幹)

行田市の市内循環バスの現状について

4コース、各コース10便 運行経費(行田市負担)約5千万円
乗客数(2009年度)約80,000人 2011年1月にJR行田駅と富士見工業団地を開通時に新たなコースを増やす計画をしている。

笹沼利氏(埼玉県移送ネットワーク 代表)

行田市の市内循環バスの現状についての印象

循環バスの範囲が広域過ぎる。市内外は、デマンド方式(※3)の交通システムが有効、反対に市街地は循環方式で行うことが行田市に合っていると思われる。その場合、民間の定期路線バス会社との調整が必要である。

北村秀哉氏(交通まちづくりの広場 事務局長)

行田市の市内循環バスの現状についての印象

各コースの便が少なく利便性が悪い。しかし、増便すると経費が増えるので、検討の余地がある。

以上の発言の他、ハンドル式電動車までの電車の乗車拒否問題や、今注目されているLRT(路面電車)などの多岐にわたる交通に関する課題や今後の生活交通のあり方の議論をしました。また、会場からの質問を踏まえ、参加者全員でのこの生活交通問題について意見交換をしました。その後、シンポジウム宣言を参加者全員の総意で採択し、終了致しました。

このシンポジウム宣言は、12月24日(金)に行田市長に直接提出をしました。

今後は、このシンポジウム宣言を基に広く市民に呼びかけ、より良い行田市になる生活交通システムづくりに取り組んでいきたいと思います。

報告レポート

シンポジウム宣言(前文省略)

1. バリアフリー新法で定められている基本構想を早急に策定すること。
2. 今後、行田市の公共交通に、多大な关心を持ち、便利で利用しやすい公共交通をつくるために、市民の力を結集していくこと。
3. 現在運行しているコミュニティバスを、費用対効果を考慮しながら最適な運行ネットワークの構築を目指していくこと。定時・定刻のバスの本数を増やすこと。
4. 障がい者、高齢者、乳幼児をもつ市民のいわゆる交通弱者のひとたちなど、誰でもが利用できるデマンドタクシーの導入を検討していくこと。
5. 行田市の公共交通の利便化のために、JR行田駅と秩父線各駅を結ぶ公共交通を整備すること。
6. 行きたいところに気軽にに行くようにするために、利用料をできるだけ安価に設定すること。

注釈

※ 1 基本構想

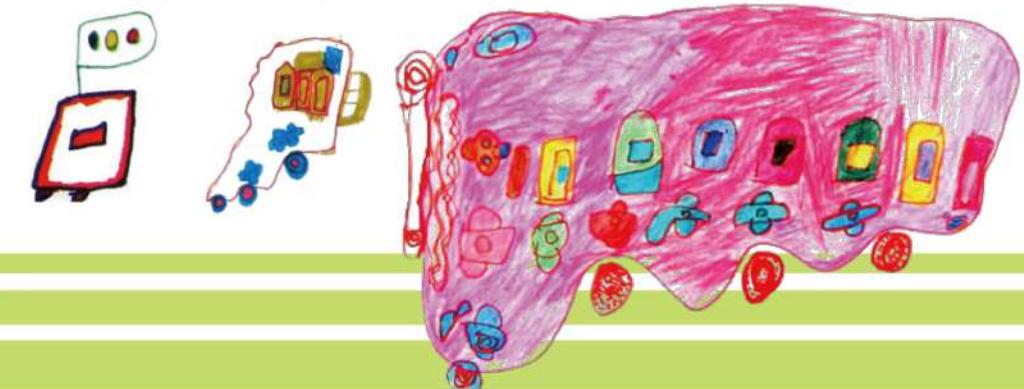
2006年に施行された「バリアフリー新法」の中で市町村は、バリアフリ化を速やかに、効果的に進めるために重点整備地区を設定しバリアフリーを重点かつ一体的に推進していく目的で「基本構想」を策定することが決められています。この「基本構想」では、おおむね2km四方未満の地区で、障がい者や高齢者が利用する駅、市役所、福祉・文化施設、病院、デパート等の建物がおおむね3ヶ所以上あり、各施設間の移動が徒歩で出来ることが見込まれる地域を「重点整備地区」に設定します。また、「基本構想」の作成にあたっては、施設設置責任者、障がい者、高齢者等の関係者の積極的な参加が必要とされています。

※ 2 生活交通

通勤・通学、通院、買い物等の日常生活で必要不可欠な外出の交通のことです。これに対し、日常生活で必要不可欠な外由を含む、旅行や余暇活動等で外出の交通は、「公共交通」と呼んでいます。

※ 3 デマンド方式の交通システム

「デマンド」は日本語では「要求、要請」と訳されています。利用者が交通業者に電話などで乗車を「要請」することで利用する交通手段を指します。
地方の過疎地に広がっている交通手段で、「デマンドバス」、「デマンドタクシー」と呼んでいます。これまでの路線バスともタクシーとも違う輸送手段で、例えば、農村部の集落から都市部の病院やスーパーなどに行きたいときに、予約を入れておいて、基本的に家まで迎えに来て、家まで送る「ドア・ツー・ドア」の新しい交通システムです。ただ、タクシーのように乗りたいと思ったときに、いつでもすぐに来てくれるのではなく、利用するには事前に利用者登録をした上で、事前に予約しなければなりません。また、他の客と乗り合い制になるため必ずしも最短距離を走るわけではありません。こうした輸送手段に対して市町村などが補助を行っていることが多い、1回の乗車につき200~300円程度の負担ですむところが多いです。



「6つの夢」オープンしました！！

・・・新しい生活の出発にあたって・・・

副理事長 斎藤 貴美子



完成までの最後の工事を急ピッチで行って、12月1日無事に6人が入居できました。なかまの家の経験に学びながら、介助の体制や生活の組み立てを作り、スタートしました。実家から移ってきた人、施設から来た人、希望に胸を膨らませて入居したものの、介助されながらの生活に戸惑いを感じたことでしょう。自分で自分の生活を決めしていくことがどんなに大変なことか、知ったのではないかと思います。でも、その大変さを超えられなければ、自立はありません。

心に決めて、スタートした「6つの夢」での生活が、すばらしいものになるように、オープニングセレモニーを、10日に開催しました。当日は、入居者を始め、ご家族、市福祉課、自治会長、建設に協力いただいた方たち、ひこうせんの関係者にお集まりいただき、お祝いや励ましのお言葉をいただきました。木村理事長は、「6つの夢への入居はゴールではなく、出発点なのです」と話され、新しい生活に向けた指針を示されました。

6つの夢は、白を基調とした明るいたたずまいになっています。真新しい住居でスタートした、6人の共同生活。ひこうせんの新たな挑戦が始まったのです。一人でも多くの人に、自分の希望する生活が送れるよう、今後も支援していきます。ケアホームの運営にあたっては、沢山の方たちが関わって行くことになります。6つの夢、なかまの家と総勢12名の入居者の方々の支援をより多くの方が担ってくださることを、切望しております。

6人の新しい生活が、希望に満ちたものになりますように・・・・。

6つの夢 入居メンバーからのメッセージ

おおさわ みえこ
大澤 美江子さん

お母さんと、お父さんと、私で、昨日8月頃に、ひこうせんと、南河原に、見学に、行って、私は、いろんな作業したいと思っていました。本当に、自分の心中で、ケアホームに、入りたいと思っていました。

お母さんと、お父さんに『入れて』って言いました。お母さんと、お父さんが、『みーこ 色々な事心配です』て言っていました。自分で、お母さんと、お父さんに『ケアホームに 決めました』て話した。本当に、お母さんが心配していました。何回も、話をしました。やっと、わかつてくれました。自分の夢を叶えました。

本当に夢が叶って嬉しく思いました。
楽しい生活を送っています。

はとり ときひさ
羽鳥 時久さん

12月1日に6つの夢に入りました。皆さん楽しいです。時久は頑張りますのでよろしくお願ひします。

いしわたり あつこ
石渡 敦子さん

私は、熊谷養護学校の時に3年間寮生活をしていました。そこでは、自分でなんでもやっていました。学校生活はちょっと違うかもしれないけれど、自分のできることはなるべくやっていきたいと思います。

新しいメンバーと仲良く楽しくやっていきたいと思います。

まるた ゆみこ
丸田 友美子さん

私は小さい頃から筋ジストロフィー症にかかり毎日リハビリに励みました。

今回ひこうせんに通い、いろいろな人の出会いの中で沢山のことを身につける事が出来ました。
6つの夢に入所し、いろんな経験をしていきたいと思っています。

最後に、ひこうせんの中で活気のある生活を周りの人と一緒に過ごしていきたいと思います。

旅立ちの言葉 ありがとう なかまの家

しまだ ごろう
島田 悟朗さん

先月発行されたひこうせん通信1月より連載開始した「ゴローのちょっとひと手間」筆者の島田悟朗です。この度、良縁に恵まれ結婚の運びとなり、ひこうせんを退所いたします。

せっかく連載を始めさせていただいたものの、誠に勝手ではありますが、私は行田を離れ、県南に戻ることになりました。

こんな私ではありますが、約2年もの間、理事長・副理事長を始め、本部のみなさん、そしてなかまの家の皆さんの厚い愛情は決して忘れる事は出来ません。

ひこうせんのみなさん、本当にありがとうございました。行田にひこうせんがあり、なかまの家があったために、今の私があり、そして妻とめぐり合ったことが出来ました。この思い出は一生懸命私の心中で消えることはありません。良いことも悪いことも、いろいろなことがありましたが、すべて、私の生涯の宝物として残ることでしょう。

最後に、ひこうせんのみなさんのこれから的人生にグッドラック！！人生、ポジティブに生きましょう。ネバーギブアップ！！そして創業にありがとう。みんな元気でね。

ひこうせん永遠に…。かしこ

ここもよう

あたら なかま ふ

ここに新しく仲間が増えました！

ちくわいんいち
詰井健一さん

ひこうせんでパソコンと営業を頑張りたいと思います。あと、職員になりたいです。
新しいヘルパーも探したいと思います。

すずきけいこ
鈴木恵子さん

メンバーに加わった、鈴木恵子です。ひこうせんには以前、「なかまの家」が出来た当初、入所しており、お世話になっていました。

約3年のブランクを空け、もう一度ひこうせんにお世話になることになりました。当時と比べ、ひこうせん内の部署も増え、事業が充実し、アシスタントさんも増えて、スゴイな～と感じました。

久しぶりに会うメンバーさんと、初めてお会いするメンバーさんもいて、覚えなきやいけない事もたくさんあって、毎日慌ただしいです。

まだまだ勉強中ですが、もうちょっと慣れてきたら、いろいろアイデアを出して、「こうだったらイイのに～・こうなったらより良くなるんじゃないかな～」っていうことを提案していくならイイなと思っています。よろしくお願ひします。

たびくるツアー報告

第3回目たびくるは街なかめぐりコース

ガイド担当:石橋 和夫

過去2回とはことなり行田の街を訪ねる体験ツアーとなりました。

行田は足袋の生産で有名ですが、藍染め産業も盛んな街でした。今回はその、藍染体験工房「牧宿舎」で藍染め体験をいたしました。皆さん夢中で取り組まれ、出来上がった藍染めの素晴らしさにもご満足いただけた様子でした。

午後からは横田酒造を見学し日本酒の出来るまでを6代目から説明をして頂き、利益追求だけでなく、近江商人の心氣を感じることもできました。今回、年末のお忙しいにもかかわらず参加くださった皆様、ご協力くださった足袋ネットワーク、横田酒造、十万石ふくさや本店様にも心より感謝申し上げます。

今回でコースも一巡し、次回からは同じコースとなりますが、ガイドはさらにパワーアップして頑張りますので、また皆様是非ご参加ください。お待ちしております。



藍染体験中！



昼食も歳とりました。



十万石本店でおみやげ選び。

お問い合わせ

NPO法人CILひこうせん たびくるツアー (受付担当:山本)

コラム

れすぽんす

きむら ひろあき
木村 浩章

おお ひと とうろん にんげん
大いに人と討論できる人間になろう！！

外国人の方が「日本人は、人と討論があまりうまくできない人種」とあると言っている。それは、例えば、あるテーマで討論が行われると自分が人と違う意見を持つ時には、周りから疎外感を抱き、黙ってしまって討論にならないのである。後で討論の場ではないところで自分と意見が合う人と、反対の意見を持っている人の悪口を言うことが多く見受けられる。または、黙っていることが利口だと思っている人もいる。

障がい者施策が「施設から地域へ」という流れから2003年に「措置から契約」という考え方に基づいて支援費制度がはじまり、施設から地域で生活する障害者が増えてきたが、まだまだ施設で暮らしている障がい者が多くいる。しかも、行政は、施設は縮小していくと言いながら、施設待機者のために以前より大分少なくなったが、それでも新しい人所施設が造られている。それに、未だ障がい者が「地域生活」を望むと、家族や施設職員、行政職員等に「反対」され、諦めてしまう人も多くいる。それは、多くの障がい者は、これまで、自身の生活を家族や施設職員に依存してきたからである。そのため、本当に自分でしたいことを、どうやって他人に伝えれば良いのか分からないのである。周りの家族や職員には単なる思い付きやわがままだと扱われてまとまに話を聞いてくれない場合も少なくない。

それは、障がい者だけのことではなく、昭和3、40年代の高度経済成長以来、幾度かの不況を乗り越えてきて、多種多様な生活形態を自分で選べるようになってきたが、その結果、「富裕層」と「貧困層」の格差社会が生まれ、資金や権力を持っている富裕者に貧困者が従う構図が自然に出来てしまった。このような社会で果たして「個」を生かす社会になつただろうか？

不況による雇用不安、自殺者増加、児童虐待、政治不信等、まるであらゆる物体を吸い込むブラックホールのようにマイナススパイralの渦にどんどん巻き込まれている。

「個」の確立とは、自分のことだけ考えて生活するのではなく、他人の意見と討論してお互いに理解をし、認め合い、双方が納得出来る最善の解決方法を探ることではないだろうか。それがプラススパイralに転換できる要因になると考える。

今の学校教育で、もっと討論し、他人を理解できるような教育が最も必要である。その教育でイジメも減少すると思う。

そして、障がい者こそ、自分の意見を持ち、人と討論できることが、自分が思う生活ができる第一歩である。

あつとキミコ

今年こそ仕事のやりやすい環境作りを!!

....断捨離の実行など....

さいとう 貴美子

今年、実行したいことの一つに「断捨離」がある。

「断捨離」とは、ヨガの「断業」「捨行」「離行」から来ていて、不要な物を断ち、捨てることで、モノへの執着から離れ、身軽で快適な生活を手にいれようということである。単なる整理術ではなく、身の回りをスッキリさせることで、心の混乱を整理し、前向きな自分に生まれ変わりたいと年代を問わず、断捨離にはまる人が増えているという。

バブルの時代だったらブームにはならなかつたかもしれないが、不況が長く続く現在では、自分を見つめ直したり、すべてのものが過剰になっているので、現代を生きるための知恵としての断捨離技術、あるいは、捨てる技術が必要とされているということなのかもしれない。

具体的には、毎日、とにかく一つでもいいから捨てる。ツイッター上では、断捨離実行者が捨てたものをつぶやいている。

私も、何でもいいから、毎日捨てるよう気をつけている。捨てるものは、ダイレクトメールだったり、紙袋だったり、お菓子が入っていた箱だったり、多分普通の人は、どんどん捨てているものなのだろうが、私には捨てられないのだ。なので、どんどんたまる。特に、関心が高いものは、いくつあっても買ってしまう。文房具が好きなので、書きやすそうなボールペンを見つけると、つい買ってしまう。結果、机のなかにボールペンが溢れてしまう。

書類もなかなか捨てられない。結果、机に山積みしていく。

今年は、できるだけ、文房具や書類を整理して、机の上には何もない状態をつくりだしたい。

もう一つ今年挑戦してみたいのが、紙の手帳の廃止である。スマートフォンをはじめとした携帯モバイルの進化により、パソコンのデータも携帯で管理できるし、仕事上のスケジュールの共有なども可能、さまざまな情報を携帯で管理できるのである。ひこうせんで、モバイルによる情報管理のネットワークがつくれたらいいなと思っている。ひこうせんに関わるスケジュールは公開して、情報を共有する。HP上でもいいかも知れない。

今年は、新しいことにも挑戦して、少しでも仕事がしやすい環境を作りたい。

こころアート展 限りない挑戦 vol. 6

今回のアート展は、原口めぐみさんが絵画を始めてから現在までの絵画の奇跡と、めぐみさんをはじめアート制作に関わっているメンバーさんに刺激を受けて、自ら「絵手紙」という自己表現方法と出会った堀越寛さん、モノを色と線で表現する安野絵美さんの作品を紹介しています。

それぞれが独自の感性と手法を見出し、確立した3人展…

テーマ「kiseki」の意味を、3人のアーティストの作品をご覧になった皆様のひとりひとりが感じて頂ければ幸いです。

【開催日】1月20日(木)～23日(日)

【時間】9:00～16:30 (最終日は15:00まで)

【会場】行田市郷土博物館 1階 企画展示室

皆様お誘い合わせのうえ、どうぞ御来場下さい。

第2回 それいゆコンサート

谷介 IN それいゆ

1月28日(金) 19:00～20:30

チケット 2000円(ワンプレート、飲み物付き)(先着30名)
申込は 557-1706 田島しのぶまで

昨年12月19日(水曜日)に、みらいでひこうせんのクリスマス会がありました。沢山の方々にご参加いただき、ありがとうございました。

少し不思議な面もありまして、すみませんでした。これからは、気をつけたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

ひこうせん新年会のお知らせ

2017年も、楽しい年になるように、皆さんの恵心を願って、新年会を開きます。

ぜひ、皆さんの明るい顔を見せてください。参加お待ちしております。

【日時】2月13日(日曜日)

【時間】12:00～15:30まで

【場所】佐間公民館

【定員】80名

【会費】1,500円

【締切】1月29日(水曜日)

【申込】ひこうせん レク課 細野までお願ひします。

